



せい しん つう しん
聖 心 通 信

札幌聖心女子学院

校長 齊藤 隆浩

第7号 2023年9月29日

〒064-8540 札幌市中央区宮の森2条16丁目10番1号
URL <https://spr-sacred-heart.ed.jp>

TEL 011-611-9231 / 011-676-7667 (職員室直通)
FAX 011-612-0980

暑かった夏が終わり、後期が始まります。前期の成績をしっかりと受け止めて、これからの学びに生かしましょう。

Congratulations !

○北海道みんなの日:U-18 メッセージコンクール
入賞 高2 伊藤理央

○第5回日本語スピーチコンテスト in SIU(札幌国際大学)
第3位 メツミ・マンダラー・ガマゲー(留学生)

梅干し弁当募金

9月6日(水)に行われた梅干し弁当募金は、国連 UNHCR 協会で役立てていただくために行いました。みなさまのご協力により、**総額 21,191 円**を送金することができました。今回寄付されたお金は、世界で避難を余儀なくされている子どもたちを保護し、支援するために使われます。

10月の予定

		行事	弁当			行事	弁当
1	日			17	火	中3オンライン国連研修② 中3国連 UNHCR 協会天沼様講話5限	要
2	月	後期開始 全校朝礼・後期委員任命式 百合の行列1限	要	18	水	中3オンライン国連研修③ 中3体験学習(カーリング)※国連研修参加者以外 高2小論①(講演)6限 寄宿祭	要
3	火	母の会パン販売(昼休み)	要	19	木		要
4	水	高3GI発表会4限(高2参加) 防災訓練(6限) 職員会議(15:30~)	要	20	金	漢字検定①(16:20~17:30)	要
5	木	高3卒業研究リエンテーション7限	要	21	土	SP14	※
6	金	中3修養会	要	22	日		
7	土	SP13(第2回英語検定一次) 赤い羽根共同募金(13:00~) 父の会聖書サークル(Sr.田口 16:00~)	※	23	月	ロザリオの祈り①	要
8	日			24	火	ロザリオの祈り②	要
9	月	スポーツの日		25	水	ロザリオの祈り③ 課題研究ミーティング③	要
10	火	高2見学旅行① 高3進路四者面談①(13:10~)	※	26	木	ロザリオの祈り④ 高2小論②7限 ピアサポート⑥	要
11	水	高2見学旅行② 高3進路四者面談②	※	27	金	ロザリオの祈り⑤	要
12	木	高2見学旅行③ 中3職業体験 高3進路四者面談③ 母の会修養会	※	28	土	SP15	※
13	金	高2見学旅行④ 高3修養会	※	29	日		
14	土			30	月		要
15	日			31	火	全校朝礼 寄宿ハロウィン	要
16	月	中3オンライン国連研修①	要				

☆ ※の日は、必要な方は昼食をご用意ください。

☆ 行事予定は暫定のものです。大きな変更がある場合には、一斉メールや学校ホームページ等でお知らせいたします。

球技大会

8月29日(火)に北海道立総合体育センターで球技大会が行われました。最初に高3のピア・サポーターの進行によるゲームで気持ちを盛り上げた後、バレー・バスケット・卓球それぞれで高3が2チーム、高2と中3が各1チームによるトーナメントで対戦しました。結果は高3が貴祿の全種目制覇！…と思いきや、卓球で中3が高校生を撃破して優勝！ 楽しい雰囲気でクラスの和と学年間の交流を深めることができました。



夏期研修報告会・Sr.ホップフェル講演会

9月21日(木)に夏期研修報告会と Sr.ホップフェルの講演会が行われました。報告を行ったのは①タイ研修、②SOFIS(姉妹校交流)、③ガールズサミット、④大樹エアロスペーススクールの四つでした。

Sr.ホップフェルは難民・移民の支援活動に長く携わっておられました。その体験を踏まえて、難民・移民に対してその背景まで深く理解して向き合うことの大切さを教えて下さいました。



今月のこころのことは

「こころでみなくちゃ、かんじんなことは目に見えないんだよ。」

サン・テグジュペリ

『星の王子様』の中のこの言葉はあまりにも有名です。振り返りと祈りを大切に、それぞれの習慣にしようと努力している札幌聖心の生徒にはこの意味が体験的に分かっていると思います。

毎年、後期始業の日に「百合の行列」を行います。今年も、学習ホールにある「感ずべき御母」の絵の前で祈り、百合を捧げます。この絵の右下に絵を模写した人の署名(Solinas1963)があります。ローマにある原画にはこの絵を描いたポーリン・パドローの署名があります。聖心では新しい学校が創立されるとローマの本部から模写の絵が送られてきました。そこで、学習ホールにある絵は1963年に札幌聖心ができた時に送られてきたものです。

感ずべき御母から学ぶことは「内省すること」すなわち心を静めて出来事や体験を振り返り、その奥にある本質的なものを見ることです。上記のキツネの星の王子への言葉どおりです。

視覚障害のある方とかかわった人は、その方たちが目に見えないものをしっかりつかむ力があると感じたことがあるのではないのでしょうか。私たちは目に見えるものに惑わされて大切なことを見逃してしまうことが多々あります。「私たちの目を、見えるものからあなたの見ておられるみえないものへ導いてください。大切にないものに惑わされやすい私たちが、真に価値あるものを理解することができますように。」と、今年もマリア様に祈りましょう。



修道院長 Sr.新庄美重子